

園長	副園長	教頭	主幹

<p>食育目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 健康なからだをつくる ◎ よい食習慣を身につける ◎ 食べ物に親しみを持ち、楽しく食べる 	<p>年間食育目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな食べ物を見る・触る・味わうなど、五感を通じて食べ物に興味をもつ ○配慮を要する子ども(体調不良・食物アレルギー)一人ひとりの子どもの体調を把握し、それぞれに応じて調理形態を工夫する ○食べたいもの、好きなものが増え好き嫌いせず何でも食べられるようにする ○「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつの習慣を身に付ける ○保育者や友達と一緒に、食事することを楽しむ。
	<p>ねらい</p>	<p>内容</p>	<p>配慮事項</p>
<p>6ヶ月未満児</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○個人差に合わせて、授乳、離乳食を進めていく。 ○落ち着いた雰囲気の中で、十分にミルクを飲む。 ○離乳食の準備期に入る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○よく遊び、よく眠る ○お腹がすいたら、泣く ○保育者にゆったり抱かれて、ミルクを飲む ○授乳してくれる人に関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ○安定した生活のリズムを大切に、心と体の発達を促すよう配慮する ○発育・発達状態を適切に把握し、家庭と連携をとりながら、個人差に配慮する ○愛情豊かな特定の大人との授乳中の関わりが、信頼、愛情の基礎となるように配慮する
<p>6ヶ月～15ヶ月未満児</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な援助により、食に関する関心と意欲を持つ。 ○お腹がすく生活リズムを身につけ喜んで食べ、快い生活を味わう。 ○いろいろな食べものを見る、触る、味わう経験を通して自分から進んで食べようとする ○保育者との信頼関係を持って、楽しく食べさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ。 ○いろいろな食べ物に関心を持ち、進んで食べようとする ○ゆったりとした雰囲気の中で、食べさせてもらうことを喜ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな食べものに接して楽しむ機会を持ち、食欲を育むよう配慮する ○咀嚼しやすいように食品や調理形態に配慮し、離乳食から完了食、幼児食への移行がスムーズに行えるようにする。 ○愛情豊かな特定の大人との食事でのかかわりが、人間への信頼、愛情の基盤となるように配慮する
<p>15ヶ月～2歳未満児</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な食事を楽し友達との心地よい生活を送る。 ○規則正しい生活リズムを作り、体を十分に動かし保育者と友達と一緒に喜んで食べる。 ○いろいろな味に触れ食べる楽しさを味わう。 ○よく噛んで食べる習慣を身につけ自分から食べようとする意欲を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ ○いろいろな食べものに関心を持ち、手づかみ、または、スプーン、フォークなどを使って意欲的に食べようとする ○食事の前後や汚れたときは、顔や手を拭き、きれいになった心地よさを感じる ○楽しい雰囲気の中で、保育者や友達と一緒に食べることを喜ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ○食べものに興味をもって意欲的に食べようとする姿を受け止め、自立心の芽生えを尊重する ○一緒に噛むまねをして見せたりし、噛むことの大切さが身につくように配慮する ○少しずついろいろな食べものに接することができるよう配慮する ○食べる姿勢やマナーについて伝えていく
<p>2歳児</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な食材に親しみ、食事を自分から楽しむ。 ○よく噛んで食べる。 ○保育者を仲立ちとして、友だちとともに食事を進め、一緒に食べる楽しさを味わう。 ○フォーク、皿などの用具を正しく使い挨拶の習慣を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○食べものに関心を持ち、進んでスプーン、フォーク、箸などを使って食べようとする ○保育者の手助けによって身の回りを清潔にし、食生活に必要な活動をする ○野菜づくりなど、身近な動植物をよく見たり、触れたりする楽しい雰囲気の中で、一緒に食べる人、調理をする人に関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりの食具の持ち方、食べ方などを把握し、箸への移行を相談する。 ○いろいろな食べものに接することができるように配慮する ○朝食を食べて登園させるよう働きかける。 ○友達とともに食事を進めることの喜びが感じられるように保育者が関わっていく
<p>主な活動内容</p>			
<p>評価と反省</p>			